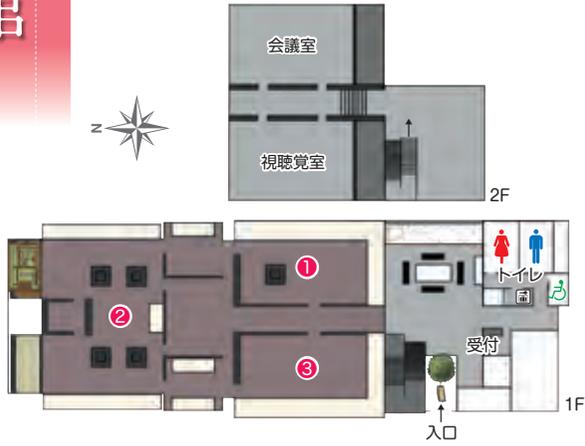


記念館

—日本酒と桜に関する資料、そしてさまざまな美術工芸品を展示—

記念館には企画展示室、酒資料室、笹部さくら資料室の3つの展示室があり、季節に合わせてさまざまな展覧会を開催しています。



1 酒資料室

年に2回、さまざまなテーマで日本酒の歴史や文化を紹介しています。日本酒に関する史料や美術品、酒器などを展示しています。

2 企画展示室

酒造家・辰馬家が収集した美術工芸品や節句の人形をはじめ、西宮神社で有名な福神「えべっさん」や郷土資料を集めた「堀内あびすコレクション」など、季節に合わせた展覧会を開催しています。

3 笹部さくら資料室

生涯を日本古来の山桜・里桜の保護・育成に捧げた笹部新太郎氏が収集した、桜にまつわる美術工芸品や研究資料からなる「笹部さくらコレクション」(西宮市より寄託)を展示しています。

笹部さんが収集した約5000点に及ぶ「笹部さくらコレクション」は、日本有数の桜のコレクションなの!



桜子ちゃん
笹部さんが生みの親の「ササベクラ」の精

「酒ミュージアム」の愛称で親しまれる白鹿記念酒造博物館は、日本にただひとつの「日本酒」と「さくら」の博物館として昭和57(1982)年に開館しました。「記念館」と「酒蔵館」の2館で構成され、生活文化遺産である酒造りと、古来日本人を魅了してきた桜の歴史や文化などをお伝えしています。



酒ミュージアム(公益財団法人 白鹿記念酒造博物館)

住所 〒662-0926 兵庫県西宮市鞍掛町8番21号

電話 (0798)33-0008

FAX (0798)32-2790

E-mail sake-museum@hakushika.co.jp

ホームページ <https://sake-museum.jp/>

開館時間 午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)

入館料 一般500円 小学生250円(記念館・酒蔵館の共通券)

※特別展は別料金

休館日 火曜日(祝日の場合は翌日、連休に含まれる場合は連休明け休館)、夏期・年末年始

交通案内 [徒歩] 阪神西宮駅より札場筋を南へ徒歩約15分
[バス] 阪神西宮駅、JR西宮駅より阪神バス「マリナパーク」行、「交通公園前」下車南西へ徒歩約1分
阪急西宮北口駅より、阪急バス「朝風町」行、「東町」下車。南へ歩いて臨港線に出て、西へ徒歩約7分。
[車] 阪神高速3号神戸線(東行)西宮出口より約4分、(西行)武庫川出口より約12分
阪神高速5号湾岸線(東行)南芦屋浜出口より約9分、(西行)西宮浜出口より約4分
名神高速 西宮出口より約6分



さくらの博物館

日本酒と

日本にただひとつの

酒ミュージアム

Sake Museum



酒蔵館



貯蔵
搾った清酒は出荷まで大樽の中で熟成させていました

宮水をはねつるべで汲むようす



板石道
宮水を詰めた水樽をスムーズに運ぶため、大八車の車輪の幅に合わせて板状の石が敷かれていました

酒蔵の建物と、館内の酒造用具、桶・樽づくり道具や釜場の遺構は、令和2(2020)年度に認定された日本遺産の構成文化財なんやで!!



酒くん
日本酒の事で頭がいっぱいな関西人

釜場
酒米を蒸していた設備です



前庭
秋になると、冬の酒造りに間に合うよう酒造用具を洗い、庭で乾かしていました(秋洗い)

—明治の酒蔵で灘の伝統的な日本酒造りを紹介—

明治2(1869)年建築の辰馬本家酒造日本蔵を利用した酒蔵館では、灘の伝統的な日本酒造りの工程をご覧いただけます。酒造り映像・酒造り唄の視聴や、酒造道具に触れるコーナーもございます。展示している灘の酒造用具一式および酒造用桶・樽づくり道具一式は、兵庫県および西宮市指定の有形民俗文化財に指定されています。

伝統的な酒造り工程



※番号は酒蔵館マップに対応しています。②精米の展示はありません。

灘の酒造り



六甲山と瀬戸内海に囲まれた、兵庫県の西宮市・神戸市に位置する灘五郷(今津郷・西宮郷・魚崎郷・御影郷・西郷)は、江戸時代から続く日本一の酒どころです。この地域でつくられる清酒は、昭和11(1936)年に兵庫県で開発され、酒米の王様として知られる「山田錦」と、江戸時代に酒造適正が確認されて以来地域で守られてきた、西宮でしか汲むことができない「宮水」という優れた材料を使用しています。さらに六甲山から吹き降ろす冷たく乾燥した北風「六甲嵐」が生み出す酒造りに適した気候と、日本の清酒造りの基礎をつくった「丹波杜氏」たちの技術によって生み出されています。

江戸時代の多い年には100万樽もの清酒が、西宮・大坂の港から樽廻船で江戸へ運ばれ、「下り酒」と呼ばれて人気を博しました。



大日本物産図会 撰津新酒荷出之図